

子ども理解支援ツール「ほっと」

— 実施の手引 —

ver. 2018.1 (高校版)

子ども理解支援ツール「ほっと」

新規データ入力

①新規データを入力します。クラス情報、アンケート実施日、回答者を入力後にボタンを押してください。

クラス情報 人数 アンケート実施 回答者

年 組 名 年 月 ▼選択

フォルダの読み込み

①入力済データが保存されているデータフォルダを読み込みます。

指定されたデータフォルダ
ツール「ほっと」¥00_児童理解支援¥

*旧ほっとのデータは新規データ入力から作成してください。

学級プロフィール

①学級全体の傾向や生徒の特徴を分析します。

群間比較シート

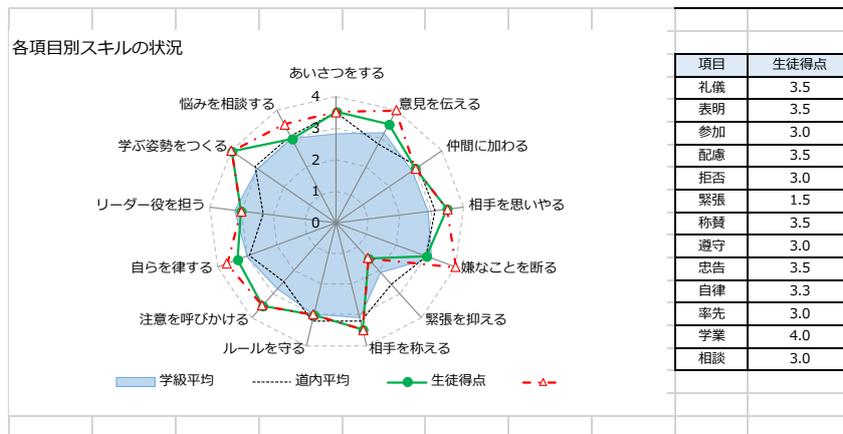
①任意の群間差（性差など）を分析します。

経時変化シート

①複数回実施したデータを分析します。

アンケート用紙印刷

①アンケート用紙を印刷します。



◆◆ 「ほっと」は、次のような改良により、機能の充実を図りました ◆◆

- 変更 1 13要素の表示形式をレーダーチャートに変更しました。
- 変更 2 因子得点の表示形式を棒グラフに変更しました。
- 変更 3 経時変化を別シートで表示するようにしました。
- 追加機能 群間比較シートを追加し、集団内のグループ間での比較が可能になりました。

北海道教育委員会・北海道医療大学
(平成31年3月)

◇◇◇ 本書の構成 ◇◇◇

第1章 「ほっと」とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 1 「ほっと」の目的と趣旨
- 2 「ほっと」で測定できるスキル
- 3 「ほっと」実施の大まかな流れ
- 4 主な変更点（「ほっと2014」との比較）

第2章 「ほっと」の実施手順？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

- 1 「ほっと」の起動
- 2 「振り返りシート」の印刷及び実施
- 3 児童生徒が回答した「振り返りシート」の結果の入力
- 4 学級プロフィール
- 5 群間比較シート
- 6 経時比較シート

— 「ほっと」の名称について —

- ◇ 子ども同士が、ほっとできる人間関係を築くことができるよう支援するツール
- ◇ 子ども同士がHOTな人間関係を築くことができるよう支援するツール
- ◇ 教職員がほっと一息入れて、学級や学年の子どもたちを見つめ直すことができるツール
- ◇ Hot Opportunity for Ties（絆をつなぐための新しい機会となるツール）

- ◆ 「ほっと」の開発に際しては、北海道医療大学の富家直明教授及び研究室に多大な御協力をいただきました。特に、新川広樹氏、健名宏樹氏には、システム変更等に御協力いただきました。

第1章 「ほっと」とは

1 「ほっと」の目的と趣旨

児童生徒のいじめや不登校等の生徒指導上の諸課題への対応については、未然防止の取組を充実させることが重要であり、とりわけ、児童生徒が、自分の思いや考えを適切に表現したり、思いやりの心をもって他者とかがわったりするなど、よりよい人間関係を築く力を高めていくことが大切です。

そのため、北海道教育委員会では、平成24年6月に、コミュニケーションスキルや日常生活等への満足度、精神的な安定度など、児童生徒をより深く理解するために必要な情報を計画的、総合的に測定することができるツールを、北海道医療大学と共同して開発しました。

2 「ほっと」で測定できるスキル

「ほっと」は、児童生徒や学級等のコミュニケーションスキルを測定することができるツールです。先行研究からコミュニケーションスキルは13要素に分類することができますが、「ほっと」はその13要素全てを測定することができます。

13要素		略称	要素の説明
1	あいさつをする	礼儀	挨拶や「してもらったこと」への感謝ができるか。
2	意見を伝える	表明	意見や欲求を主張できるか。
3	仲間に加わる	参加	対人参加や、仲間と協調することができるか。
4	相手を思いやる	配慮	相手への配慮や親切、援助ができるか。
5	嫌なことを断る	拒否	他者から無理な働きかけに「やめて」と言うことができるか。
6	緊張を抑える	緊張	緊張や不安によって話せなくなることがあるか。
7	相手を称える	称賛	相手をほめたり喜ばせたりすることができるか。
8	ルールを守る	遵守	規則や秩序を維持したり、不適切な行為を謝罪したりできるか。
9	注意を呼びかける	忠告	社会的な望ましさを促進する働きかけができるか。
10	自らを律する	自律	協調性や我慢などの自律的な行動ができるか。
11	リーダー役を担う	率先	集団をまとめることなど、リーダーシップのとれた行動ができるか。
12	学ぶ姿勢をつくる	学業	学習に関連した望ましい行動ができるか。
13	悩みを相談する	相談	相談や自己開示ができるか。

また、13要素で相関の高い要素同士を因子としてまとめることで、児童生徒や学級等の全体的な特徴をより効果的に把握することができます。

学校種	因子	因子の説明
小学校	主張性（積極的に関わる力）	自発的に相手とかかわり、自分の考えを主張する力
	協調性（集団に適応する力）	他者を気遣ったり、集団生活に適応したりする力
中学校	関係維持（よい関係を保つ力）	他者と良好な関係を保ち、励まし合う力
	仲間強化（仲間と高め合う力）	仲間と高め合ったり、影響力のある発言をしたりする力
	自己統制（セルフコントロール力）	衝動性を抑え、良識に基づく意思決定を行う力
高等学校	関係維持（よい関係を保つ力）	他者と良好な関係を保ち、励まし合う力
	仲間強化（仲間と高め合う力）	仲間と高め合ったり、影響力のある発言をしたりする力
	自己統制（セルフコントロール力）	衝動性を抑え、良識に基づく意思決定を行う力
	援助要請（援助を求める力）	身近な人に相談したり、悩みを打ち明けたりする力

3 「ほっと」実施の大まかな流れ

「ほっと」を実施するに当たっては、大きく4つの段階に分けることができます。

(1) 児童生徒への「振り返りシート」の配付及び回答の実施

このアンケートは、皆さんの日常生活での振る舞いについてお聞きするものです。
 次の文をよく読んで、現在のあなたにあてはまる番号を○で囲んでください。
 例にならって、「あてはまる」ときは4、「ややあてはまる」ときは3、「あまりあてはまらない」ときは2、「あてはまらない」ときは1を○で囲んでください。

年 組 番 氏名:	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
例 早寝早起きをいつも心がけている	4	3	2	1
1 出会いや別れのあいさつを自分からできる	4	3	2	1
2 感謝の気持ちを伝えることができる	4	3	2	1
3 反対意見や少数意見であっても自分の考えを言うことができる	4	3	2	1
4 場面や状況に応じて、自分の意見を相手に伝えることができる	4	3	2	1
5 自分から仲間に加わることができる	4	3	2	1
6 共通の目標に向かって、みんなと協力することができる	4	3	2	1

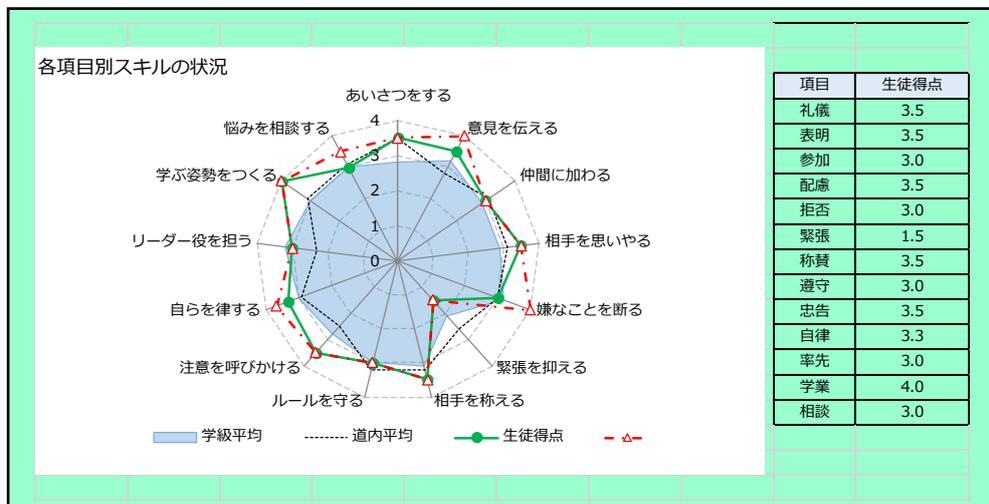
(2) 児童生徒が回答した「振り返りシート」の結果の入力 (Excel シート)

データ集計 データ保存

①入力されたデータを集計します。 ②入力されたデータを保存します。

生徒情報	性別	階級	カスタム	質問項目	q1	q2	q3	q4	q5	q6	q7	q8	q9	q10	q11	q12	q13	q14	q15	q16	q17	q18	q19	q20	q21	q22	q23	q24
1	安藤	1	中群		4	3	2	4	3	2	4	3	3	1	2	2	4	3	2	3	3	2	4	3	3	4	3	2
1	井上	0	低群		4	3	2	1	4	3	2	1	4	2	3	1	4	3	2	4	4	3	2	1	4	3	2	1
1	三上	1	低群		1	2	3	1	2	3	1	2	2	4	3	1	2	3	2	3	1	2	2	1	2	1	2	3
1	江藤	0	高群		4	3	4	2	4	3	4	2	4	2	1	2	4	3	4	4	4	3	4	2	4	3	4	2
1	高橋	1	低群		2	4	1	2	4	1	2	4	4	3	1	1	2	4	1	4	4	1	2	4	4	2	4	1
1	田中	0	低群		3	2	1	3	2	1	3	2	2	3	1	3	2	1	3	2	1	2	2	3	2	3	2	1
1	木村	1	低群		1	2	3	1	2	3	1	2	2	4	3	3	1	2	3	2	2	3	1	2	2	1	2	3
1	工藤	0	低群		4	3	4	2	4	3	4	2	4	2	1	2	4	3	4	4	4	3	4	2	4	3	4	2
1	佐々木	1	低群		2	4	1	2	4	1	2	4	4	3	1	1	2	4	1	4	4	1	2	4	4	2	4	1
1	清水	0	低群		3	2	1	3	2	1	3	2	2	2	3	1	3	2	1	2	2	1	3	2	2	3	2	1
1	斎藤	1	低群		2	4	1	2	4	1	2	4	4	3	1	1	2	4	1	4	4	1	2	4	4	2	4	1
1	山田	0	低群		3	2	1	3	2	1	3	2	2	2	3	1	3	2	1	2	2	1	3	2	2	3	2	1
1	橋本	1	低群		3	2	1	3	2	1	3	2	2	2	3	1	3	2	1	2	2	1	3	2	2	3	2	1
1	高橋	1	低群		1	2	3	1	2	3	1	2	2	4	3	3	1	2	3	2	2	3	1	2	2	1	2	3
学級平均				2.6	2.8	2.1	2.1	3.0	2.0	2.5	2.5	3.0	2.6	2.2	1.7	2.6	2.8	2.1	3.0	3.0	2.0	2.5	2.5	3.0	2.4	2.8	1.7	

(3) 集計結果の表示 (グラフ)



(4) 集計結果の分析及び今後の生徒指導の改善充実に向けた具体的な方策の検討

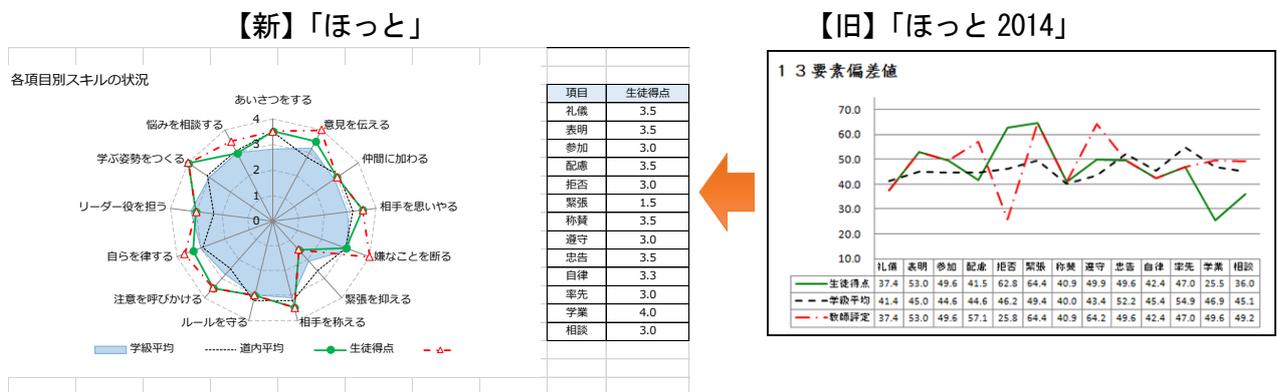
4 主な変更点（「ほっと 2014」との比較）

これまで、「ほっと 2014」が全道の学校で活用されてきましたが、この度、学校からの要望等を踏まえ、機能等に変更を加えた、新しいバージョンの「子ども理解支援ツール『ほっと』」を作成し配布することとなりました。

(1) データの表示形式の変更

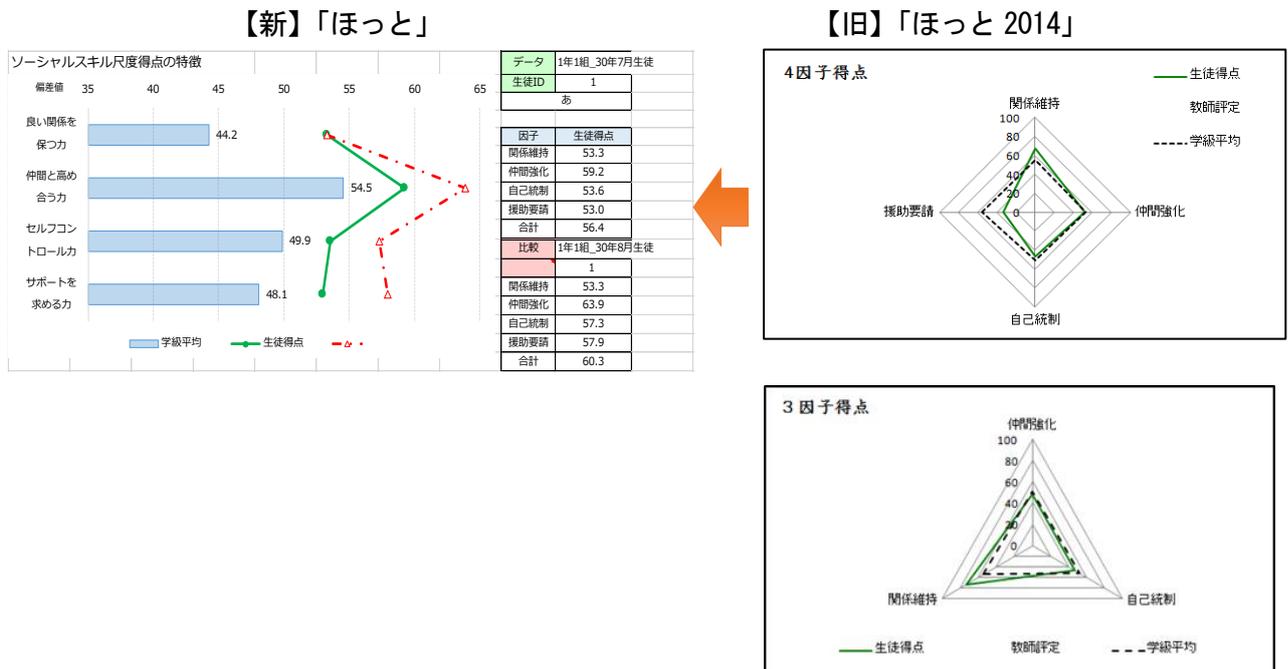
ア 13要素の表示形式をレーダーチャートに変更しました。

これまでは13要素の偏差値を折れ線グラフで表示していたため、偏差値表示では素点のわずかな差が極端な差として表示され、道内平均や学級平均との差が直観的に分かりにくくなるのが欠点でした。今回は、質問項目に対する回答をよりシンプルに反映するために、13要素ごとの素点の平均値をレーダーチャートで表示しました。



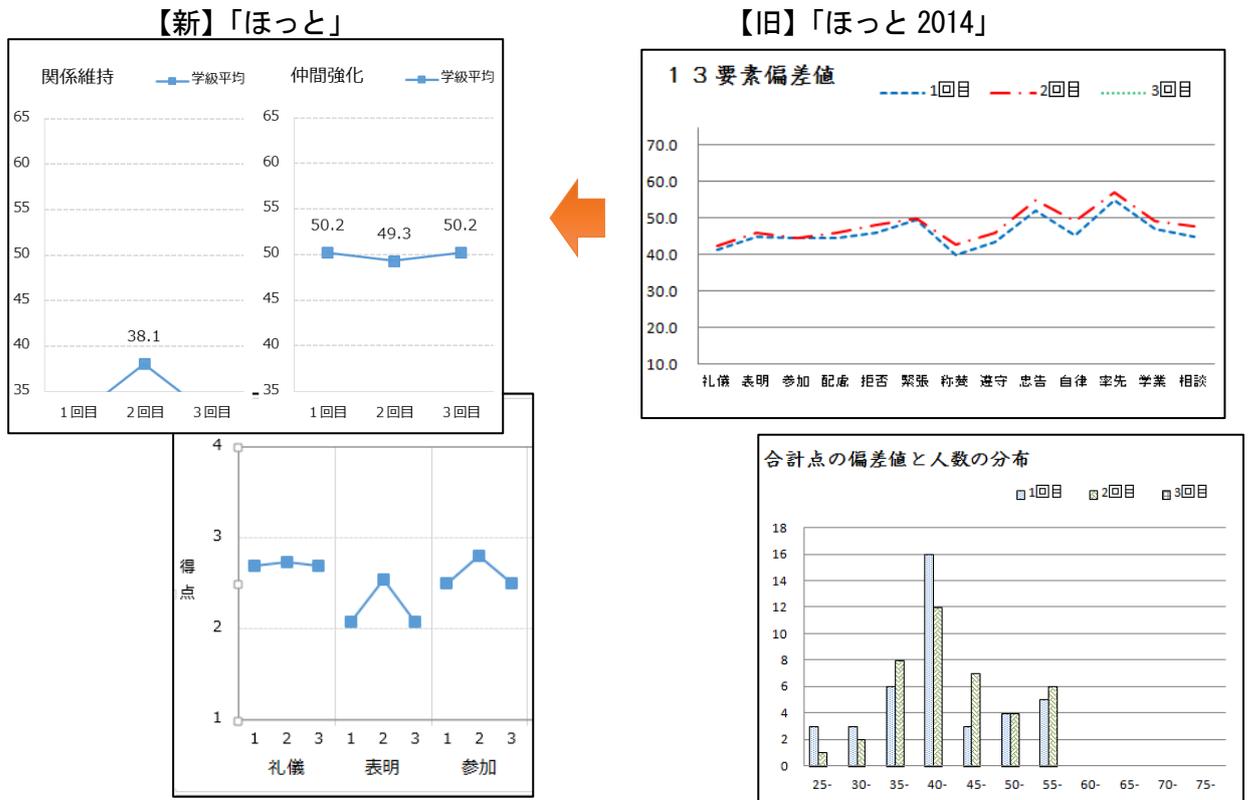
イ 因子得点の表示形式を変更しました。（高等学校用、中学校用のみ）

これまでは各因子に含まれる項目の平均値を100点満点に換算してレーダーチャートで表示していたため、因子得点のパターンを判別するには分かりにくい表示でした（三角形、ひし形の図形に変化がないため）。今回は横棒グラフで偏差値を表示し、道内平均と比較した際の学級平均、生徒得点を表示することで、因子得点のパターンを読み取りやすくするようにしました。



(2) 経時変化シートの追加

複数回実施した場合の経時変化を、各要素、因子ごとに表示することで、学級状況の変容をより詳細に把握できるようにしました。

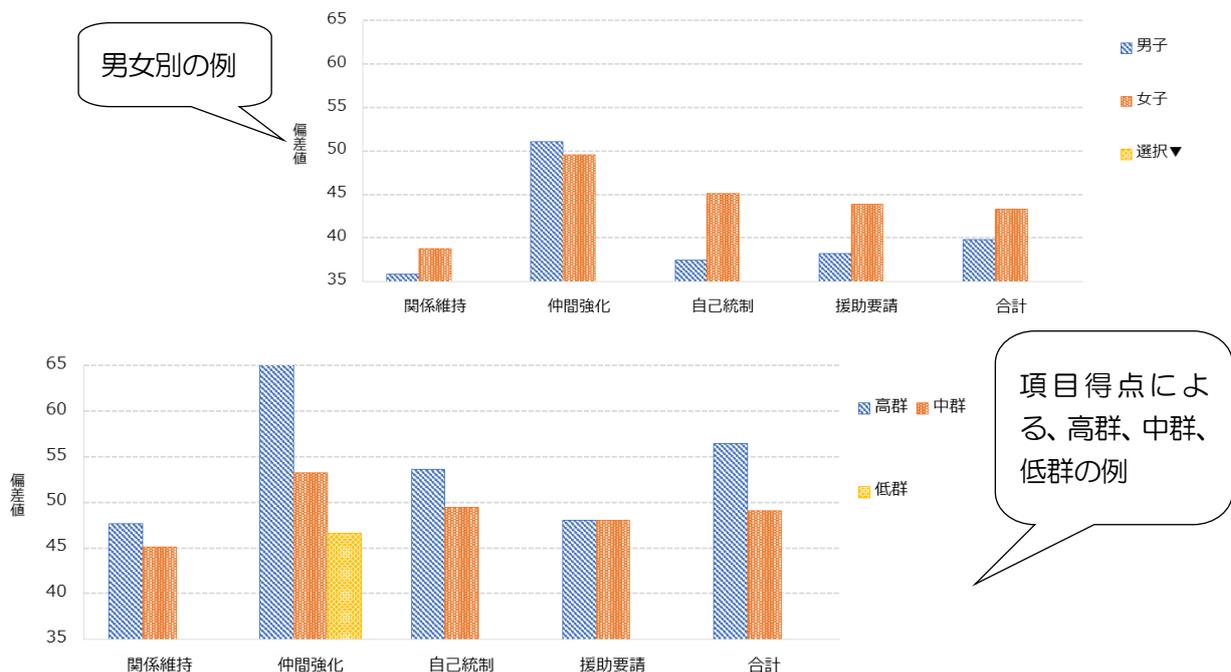


(3) 群間比較シートの追加

学級等の集団において、所属する児童生徒のグループ別の状況を棒グラフで表示し、グループ別の差異を把握できるようにしました。

例えば、男女別の状況の違いや、項目得点が高いグループ（高群）、中程度のグループ（中群）、低いグループ（低群）の状況などを比較できます。

また、出身地域別などのグループを自由に設定できます。（3群まで）



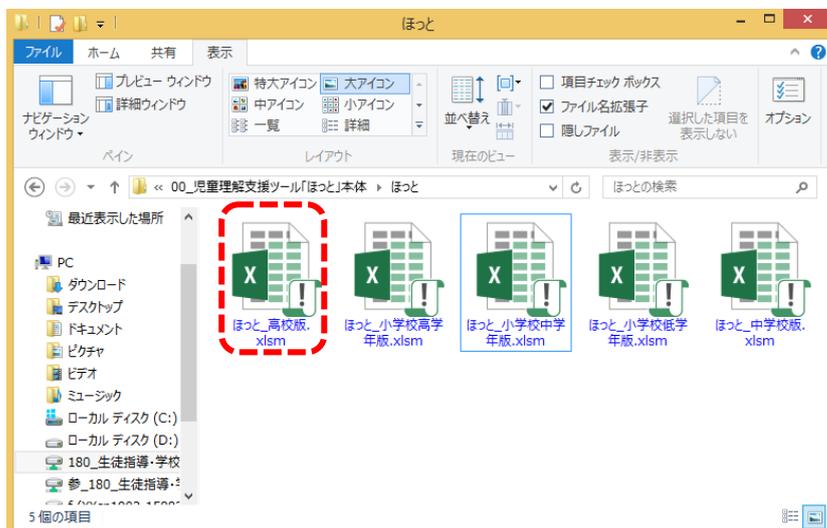
第2章 「ほっと」の実施手順

1 「ほっと」の起動

1 該当ファイルのクリック

「ほっと」のファイルは、学齢期に応じて、次の5つの種類が設定されています。児童生徒の所属する学年に応じて、該当とする Excel ファイルをクリックして起動させてください。

- (1) 「ほっと」(小学校低学年)
- (2) 「ほっと」(小学校中学年)
- (3) 「ほっと」(小学校高学年)
- (4) 「ほっと」(中学校)
- (5) 「ほっと」(高等学校)

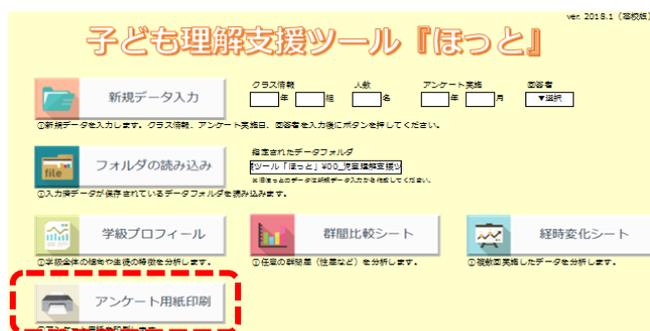


※「ほっと」の Excel ファイルは、マクロが組み込まれていますので、マクロを有効にしてください。

2 「振り返りシート」の印刷及び実施

1 「振り返りシート」の印刷

「メニュー画面」の「アンケート用紙印刷」ボタンをクリックします。児童生徒配付用として、必要な枚数を印刷してください。



振り返りシート

次の文をよく読んで、現在のあなたにあてはまる番号を○で囲んでください。
例にならって、「あてはまる」ときは4、「ややあてはまる」ときは3、「あまりあてはまらない」ときは2、「あてはまらない」ときは1を○で囲んでください。

年 組 番 氏名:	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
例 早寝早起きをいつも心がけている	4	③	2	1
1 出会いや別れのあいさつを自分からできる	4	3	2	1
2 感謝の気持ちを伝えることができる	4	3	2	1
3 反対意見や少数意見であっても自分の考えを言うことができる	4	3	2	1
4 場面や状況に応じて、自分の意見を相手に伝えることができる	4	3	2	1
5 自分から仲間に加わることができる	4	3	2	1
6 共通の目標に向かって、みんなと協力することができる	4	3	2	1
7 困っている人のために思いやりのある行動をとることができる	4	3	2	1
8 相手の趣味に關心をもつことができる	4	3	2	1
9 嫌なことをされたときは、やめるように言うことができる	4	3	2	1
10 友達にどう思われるか不安で、本音を話すことができない	4	3	2	1
11 緊張して人前で話すことができないことがある	4	3	2	1
12 誰にでも笑顔で接することができる	4	3	2	1
13 がんばっている友達を励ましたりほめたりすることができる	4	3	2	1
14 時間を守って生活できる	4	3	2	1
15 学校のルールや公共のモラルを守ることができる	4	3	2	1
16 与えられた仕事をしない友達に注意することができる	4	3	2	1
17 みんなのやる気を高める発言をすることができる	4	3	2	1
18 目標に向かって、継続して努力することができる	4	3	2	1
19 嫌なことをされても、感情的にならずに冷静に対処することができる	4	3	2	1
20 場面や状況に応じた行動をすることができる	4	3	2	1
21 みんなの意見をまとめることができる	4	3	2	1
22 勉強でわからないところを先生や友達に聞くことができる	4	3	2	1
23 困ったことや悩みを友達に打ち明けることができる	4	3	2	1
24 自分の性格や趣味などを友達に話すことができる	4	3	2	1

ぬけているところがないか、もう一度、確かめてください。

2 児童生徒への「振り返りシート」の実施

児童生徒に「振り返りシート」を配付し、回答させてください。実施の手順の例を、次のとおりまとめましたので、参考にしてください。

進行	児童生徒への説明	備考
1 用紙配付	<ul style="list-style-type: none"> ・これから、皆さんのコミュニケーション能力に関して、日常生活を振り返ってもらいます。 ・「振り返りシート」を配りますので、指示があるまでそのまま待っててください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備 振り返りシート 筆記用具
2 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・このシートは、皆さんが友だちと仲良く過ごし、より充実した学校生活を送ることができるよう、コミュニケーションに関する13の要素について聞くものです。 ・このシートに答えたことで、皆さんに迷惑がかかったり、成績に影響したりするようなことはありませんので、安心して回答してください。 ・このシートには、24の文があります。 ※質問項目は各段階に応じて、次のとおり。 小学校低学年：15、小学校中学年：19 小学校高学年：20 中学校：21 高等学校：24 ・それぞれの文に対して、今のあなたに「あてはまる」ときは4の欄に、「ややあてはまる」ときは3の欄に、「あまりあてはまらない」ときは2の欄に、「あてはまらない」ときは1の欄に「○」を付けてください。 ・()時()分までに回答を終えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、例に従って説明する。 ・児童生徒の実態に応じて、時刻を設定する。
3 調査	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学年、組、出席番号を記入してください。 ・それでは、それぞれの文を読み、アンケートに答えてください。 	
4 終了・回収	<ul style="list-style-type: none"> ・終了時刻になりました。 ・回答に当たり、記入漏れがないか、もう一度確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認後、用紙の回収を行う。

3 児童生徒が回答した「振り返りシート」の結果の入力

1 基本情報の入力

- ① 「メニュー画面」で、「クラス情報（年、組、人数）」、「アンケート実施日」を入力します。「回答者」はプルダウンで、「生徒」「教師」のいずれかを選択します。（教師が児童生徒の状況を判断して回答をした場合は「教師」を選択します。）
- ② 基本情報の入力終了した後、「新規データ入力」ボタンをクリックすると、「〇年〇組 20〇〇年 〇〇」というシートが自動的に作成されます



2 「振り返りシート」の回答結果の入力

1で自動作成されたシート（シート名の例「1-A_2019.4S」）に、ID、性別（男性：0、女性：1）、質問項目に対する回答結果（数字「1」「2」「3」「4」）を入力します。

また、「ほっと 2014」に入力されている数値を、「コピー&ペースト」により当該シートに貼り付けることもできます。その際は、「形式を選択して貼り付け」で「値」のみを貼り付けてください。

生徒情報		質問項目																												
ON/OFF	ID	氏名	性別	得点群	カスタム	q1	q2	q3	q4	q5	q6	q7	q8	q9	q10	q11	q12	q13	q14	q15	q16	q17	q18	q19	q20	q21	q22	q23	q24	
1	1	美藤	1			4	3	2	4	3	2	4	3	3	1	2	2	4	3	2	3	3	2	4	3	3	4	3	2	
1	2	村上	0			4	3	2	1	4	3	2	1	4	2	3	1	4	3	2	4	4	3	2	1	4	3	2	1	
1	3	鳥	1			1	2	3	1	2	3	1	2	2	4	3	3	1	2	3	2	2	3	1	2	2	1	2	3	
1	4	美藤	0			4	3	4	2	4	3	4	2	4	2	1	2	4	3	4	4	4	3	4	2	4	3	4	2	
1	5	鳥	1			2	4	1	2	4	1	2	4	4	3	1	1	2	4	1	4	4	1	2	4	4	2	4	1	
1	6	鳥	0			3	2	1	3	2	1	3	2	2	2	3	1	3	2	1	2	2	1	3	2	2	2	3	2	1
1	7	水村	1			1	2	3	1	2	3	1	2	2	4	3	3	1	2	3	2	2	3	1	2	2	1	2	3	
1	8	美藤	0			4	3	4	2	4	3	4	2	4	2	1	2	4	3	4	4	4	3	4	2	4	3	4	2	
1	9	竹々木	1			2	4	1	2	4	1	2	4	4	3	1	1	2	4	1	4	4	1	2	4	4	2	4	1	
1	10	清水	0			3	2	1	3	2	1	3	2	2	2	3	1	3	2	1	2	2	1	3	2	2	3	2	1	
1	11	美藤	1			2	4	1	2	4	1	2	4	4	3	1	1	2	4	1	4	4	1	2	4	4	2	4	1	
1	12	水村	0			3	2	1	3	2	1	3	2	2	2	3	1	3	2	1	2	2	1	3	2	2	3	2	1	
1	13	水村	1			1	2	3	1	2	3	1	2	2	4	3	3	1	2	3	2	2	3	1	2	2	1	2	3	
					学級平均																									

「性別」（男性：0、女性：1）
を入力するセルです。

質問項目それぞれの「回答結果」（1～4）
を入力するセルです。

「ID」を入力するセルです。出席番号等を入力します。

3 データの集計

回答結果を入力した画面で、「データ集計」ボタンをクリックすると、「学級平均」等の集計が行われます。また、得点群の欄に、学級内において得点が高い生徒（高群）、中間層の生徒（中群）、低い生徒（低群）が表示されます。

①入力されたデータを集計します。

②入力されたデータを保存します。

「学級平均」等が表示されます。

【「逆転項目」（水色になったセル）について】

「データ集計」ボタンをクリックし集計が行われると、同時に質問項目の一部のセルが水色になり、数値が変わります。また、右上の「逆転」の欄のセルも水色になり、表示が「未」から「済」に変わります。「ほっと」のアンケートでは、これらの項目だけ他の項目と異なり、数値が小さいほど高い評価となるため、集計の際に数値を逆転する操作を行います。「逆転」が「未」の状態では、入力した数値どおりで、数値が小さいほど高い評価となり、「済」の状態では、数値が大きいほど高い評価となります。

4 データの保存

データ集計後の画面で、「データ保存」ボタンをクリックすると、集計結果を保存できます。画面の指示に従って、保存するフォルダを指定してください。

データを保存すると、集計結果は一度消去されます。再度表示する場合は、メニュー画面から「フォルダの読み込み」を行います。

複数のデータを読み込み、比較等を行う場合には、「新規データ入力」からデータを作成し、同じフォルダに保存します。

5 フォルダの読み込み

メニュー画面で、「フォルダの読み込み」ボタンをクリックし、画面の指示に従って、データが保存されているフォルダを選択します。

選択したフォルダに複数のデータファイルがある場合は、それぞれのデータのシートが読み込まれます。

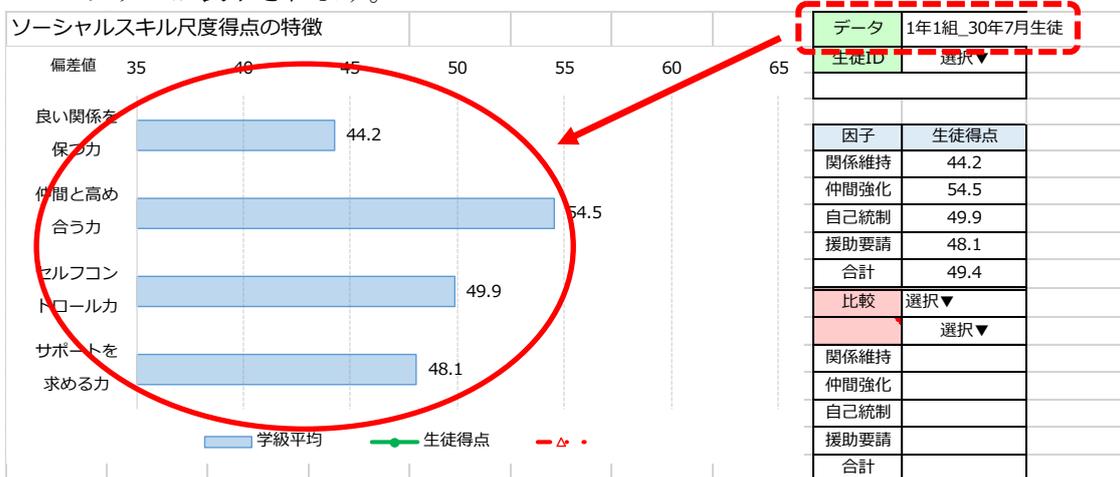
フォルダ内に格納されているデータファイルの数だけシートが作成されます。

4 学級プロフィール

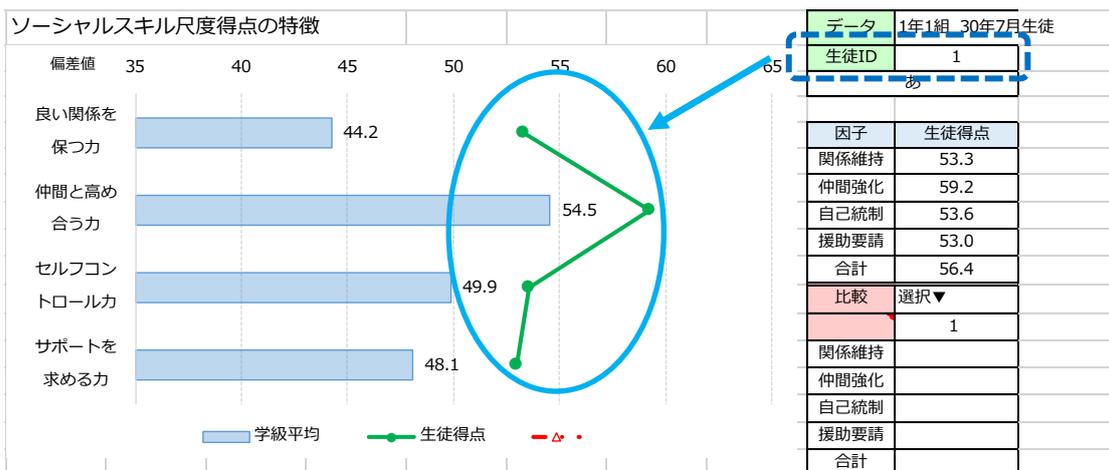
「メニュー画面」で、「学級プロフィール」ボタンをクリックすると、「学級プロフィール」シートが表示されます

1 グラフの表示

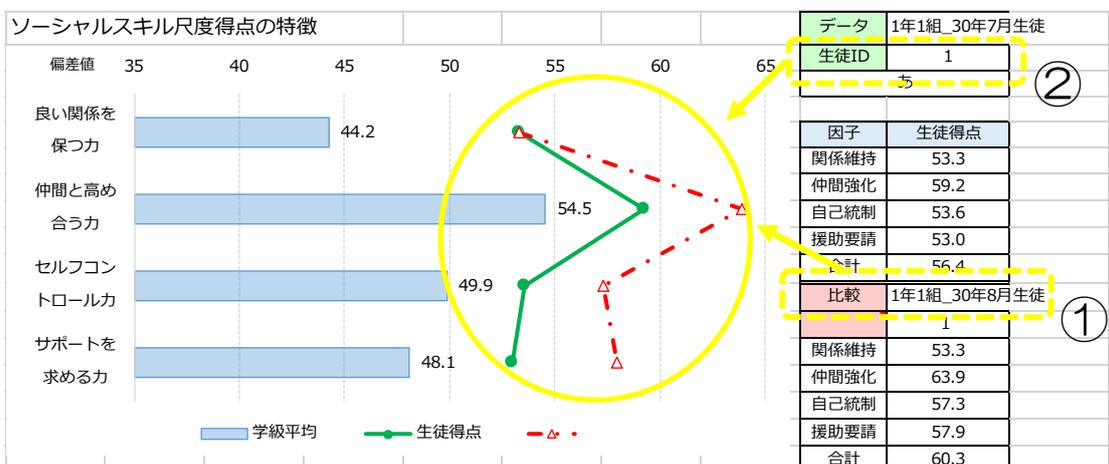
(1) 「データ」の欄で、プルダウンからデータのシートを選択すると、クラス全体の状況のグラフが表示されます。



(2) 「生徒ID」の欄で、プルダウンから生徒を選択すると、その生徒の状況のグラフが表示されます。



(3) その生徒についての変化を表示するときは、①「比較」の欄で、プルダウンからデータのシートを選択し、②「生徒ID」を再度選択します。



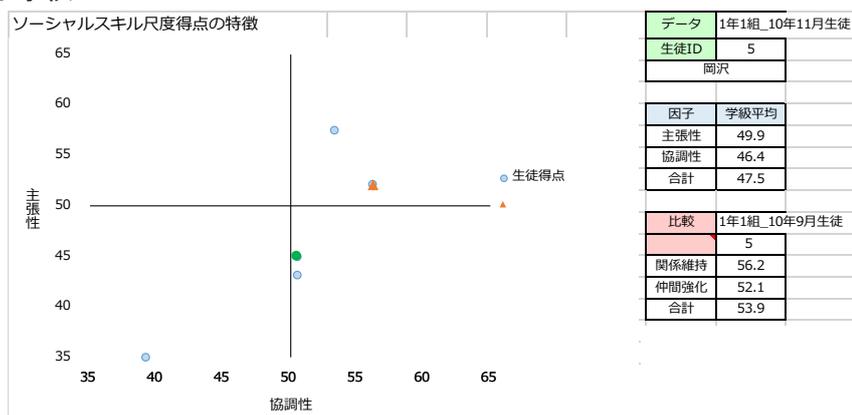
2 グラフの種類

「学級プロフィール」のシートには、次の3種類のグラフが表示されます。

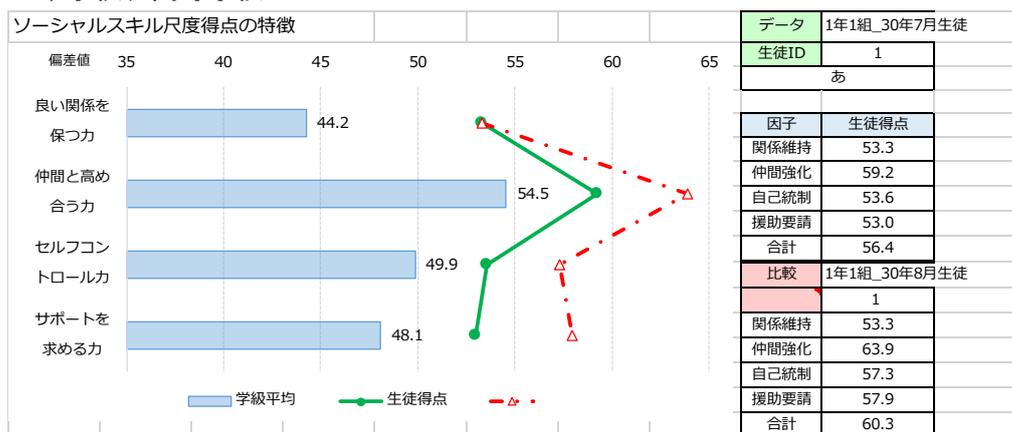
(1) ソーシャルスキル尺度得点の特徴

ソーシャルスキルの因子ごとに得点偏差値がグラフで表示されます。小学校は「主張性」「協調性」の2因子、中学校は「関係維持」「仲間強化」「自己統制」の3因子、高等学校は「関係維持」「仲間強化」「自己統制」「援助要請」の4因子で構成されています。因子の数により、小学校は「散布図」、中学校と高等学校は「棒グラフ」が表示されます。グラフの右側には、因子得点の数値が「表」で表示されます。

《小学校》

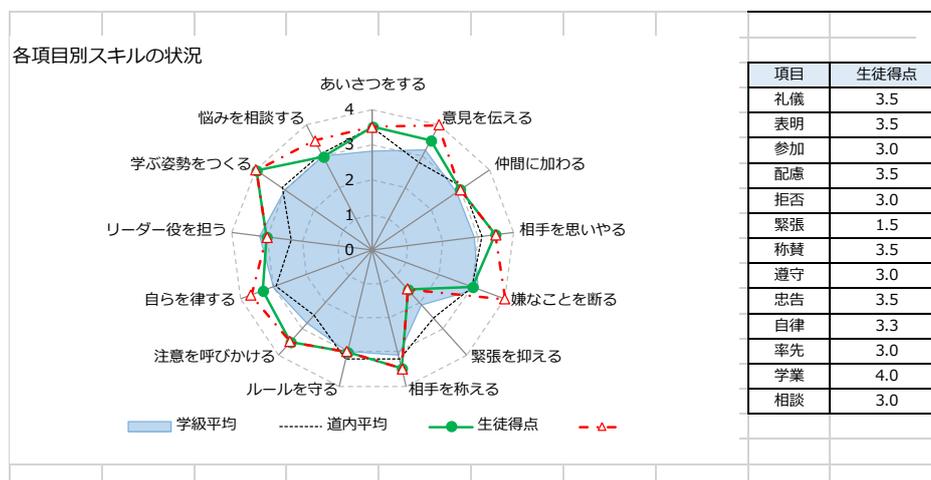


《中学校、高等学校》



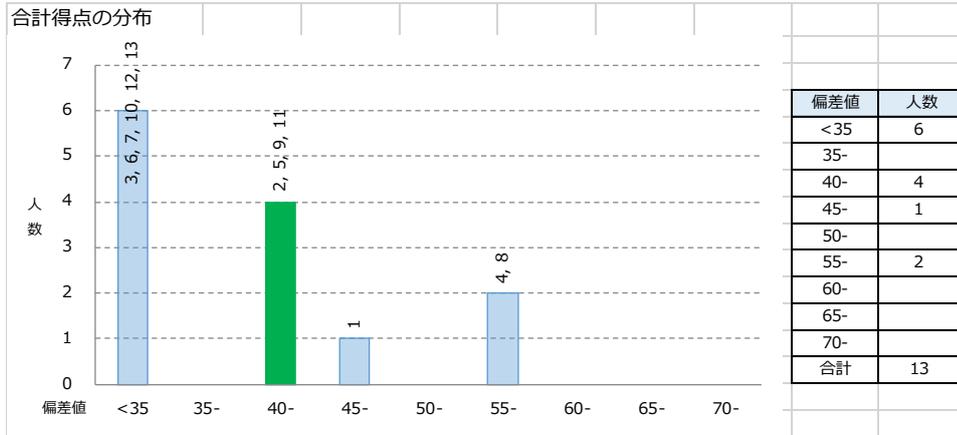
(2) 各項目スキルの状況

13要素の各項目の得点が、レーダーチャートで表示されます。また、グラフの右側には、13要素の各項目の得点の数値が「表」で表示されます。



(3) 合計点の分布

学級等の集団における合計得点の偏差値の分布が棒グラフで表示されます。各グラフには、その区間に含まれる生徒のIDが表示され、選択した児童生徒が含まれるグラフは緑色で表示されます。また、棒グラフの右側には、分布の人数が「表」で表示されます。

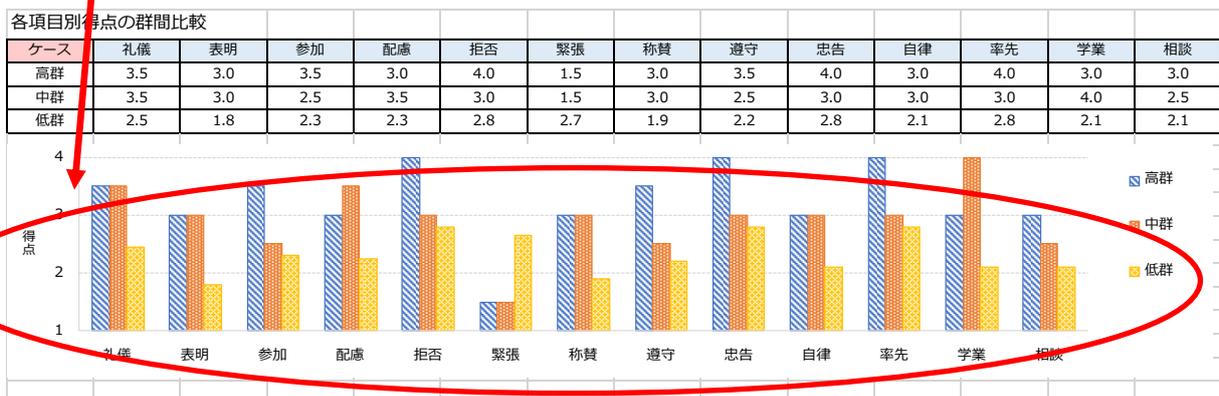


5 群間比較シート

「メニュー画面」で、「群間比較シート」ボタンをクリックすると、「群間比較シート」が表示されます。

1 グラフの表示

表の上部の「データ」、「群」、「ケース」の欄で、プルダウンから比較したいデータを選択すると、2種類のグラフが表示されます。通常、「データ」及び「群」は3列とも同じものを選択します。



6 経時比較シート

「メニュー画面」で、「経時比較シート」ボタンをクリックすると、「経時比較シート」が表示されます。

1 グラフの表示

表の上部の1回目、2回目、3回目の「データ」欄で、プルダウンから比較したいデータを選択すると、2種類のグラフが表示されます。

ソーシャルスキル尺度得点の経時変化															
実施回数	1回目				2回目				3回目						
因子	関係維持	仲間強化	自己統制	援助要請	合計	関係維持	仲間強化	自己統制	援助要請	合計	関係維持	仲間強化	自己統制	援助要請	合計
学級平均	32.4	50.2	37.8	37.8	38.3	38.1	49.3	45.0	43.5	42.9	32.4	50.2	37.8	37.8	38.3
グループ	選択▼														
クラス	選択▼														

